

本願寺西山別院報

久遠

-QUON-

第49号

〒615-8107
京都市西京区川島北裏町
29番地
Tel:075-392-7939
Fax:075-394-4416
e-mail: nishiyamabetsuin@
msa.biglobe.ne.jp

本願寺西山別院輪番
得度習礼所・教師教修所所長
西山幼稚園園長

中原 敬恵



一水四見

令和五年も半ばを過ぎ、梅雨の雨を吸い込んだ境内地では、雑草がグングンと成長しております。この時期、僧侶たちが外での修行をやめて、一ヶ所に集まって定住し勉強することを「安居（あんご）」といいます。

これは釈尊の時代から行われていたといわれ、雨期に草木が生え繁り、小さな虫たちが草木の間で活動をはじめると、あたりに人間の間が動き回って無闇に殺生してしまうようにされたといわれます。それにならって本願寺においても、黄袈裟を着用した僧侶が一堂に会し安居が行われます。

当別院ではどうかというところ、草木や虫たちに心を寄せるどころか、雑草に戦いを挑み、ちよっ



ご縁を喜び、お念仏とともに

親鸞聖人御誕生

850
立教開宗
00



と伸びては引き抜かれ、引き抜かれてはグンッと伸びるを繰り返しています。梅雨によってたくさん水分をすいこんで、夏になってたくさん太陽の光を浴びて、草木は心地よく成長して行くのですが、それを恨めしく思う私たち人間がいるのです。

人間にとっては、無くてはならない飲み物としての水
魚にとっては、自分たちの住処である水
天人にとっては、透き通った水晶やガラスのような歩くことが出来る水
餓鬼にとっては、口にしようと思ったら燃えてしまう苦しみのお水

同じ水であっても、無くてはならない素晴らしいものになったり、見るのも触るのも嫌になるも

のようになったり。立場が変われば、物の見方は変わるのだと教えてくれる言葉です。
梅雨の時期は「今週は天気が悪くて嫌です」と挨拶することが増えますが、「雨が好きな人も、雨が必要な人もいることを忘れてしまっています。子どもたちは、楽しそうに水たまりにジャンプしている横で、大人は服が汚れるのを心配している様子は、まさに「立場変われば」です。
日常生活においても、自分の思いだけを優先してしまいがちなのが、私たち人間です。ほんの少し違う視線で物事をみて、他の人の心に寄りそうこと、これが争いの無い世界への第一歩ではないでしょうか。

雑草に「大きくなったね」と心を寄せつつ、参拝しやすい白洲を目指して優しく引き抜く作業を続けたいと思います。

さて、当別院での「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」まで一年を切りました。具体的な内容も決まりつつあり、大勢の皆様が西山別院に集い、親鸞聖人を通して自分のいのちの生き方を考える時間をもって頂けたらと思います。法要だけでなく、いくつかのイベントも企画中です。随時、ご報告いたしますので、楽しみにお待ちください。

また、ご門徒の皆様、有縁の皆様には多大なるご懇念を頂戴しております。御礼申し上げます。この度は、当別院の開基である覚如上人が、親鸞聖人のご遺徳を描かれた『御絵伝』をお迎えしたいと考えております。引き続き、ご協力賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

